ふくしま
電友会だより

電友会
NTTグループOB・OGの会
福島地区電友会事務局
TeL・Fax 024-531-7421

第57号
令和5年1月1日

謹賀新年

年頭にあたって

福島地区電友会
会長　山田　斉

明けましておめでとうございます。
新しい年を迎え、会員の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。
新型コロナウイルスの感染が始まってから３年が経ちました。
感染防止の行動規制も緩和され、各地で各種のイベントが開催される中、第８波の感染拡大が始まりました。
この様な状況を受け電友会では、総会や新年会及びOB・OG交流会など、いわゆる会食を伴う集会は全て中止といたしました。
一方、サークル活動では、幹事の方が感染防止の工夫を行い例会を開催する等、活動しているサークルも有り、本当に有難う御座います。

1. 新入会員の勧奨！

電友会の会員数は、残念ながら全国的に年々減少が続いております。
会員へ入会勧奨のきっかけとして２千円のクオカードを贈呈することにしましたが、その効果を含め役員・幹事が旧知の方へ勧奨を行ない４名入会されました。
ＮＴＴグループ各社に６０歳を超えて働いている方も準会員として入会出来ますので、サークル活動に参加し楽しさを共有するため、身近な仲間に入会の呼びかけをお願いします。

２. 新しい行動様式や暮らし方の始まりか！

新型コロナウイルス感染防止の対応として、リモート〇〇が始まっています。
出社せずに働くリモートワーク、集合せずに会食するリモート呑み会、入院患者と直接会わないリモート面会、リモート披露宴にリモート墓参り等、多岐にわたる内容を画像データ等とＩＣＴ活用で運用しています。
実際に利用された方からお聞きすると、便利な面が多く、新型コロナウイルスの感染が収束しても継続して利用する「新しい暮らし方」が始まっていると実感しています。
ＮＴＴ東日本福島支店が令和４年４月に開設した、シェアオフィス「コネクト大町」もリモートワーク拠点として社内外の多くの方が利用していると聞いています。

３. サークル活動も新なた展開！

新型コロナウイルスの影響で活動を自粛しているサークルも有りますが、高齢化等で参加者が減少しているサークルも出始めています。
以前に活動していた「写真サークル」の再立ち上げや「余技展」の開催等も役員会で話し合いましたが、支部ホームページに会員の作品を掲載する方法も有り、事務局で他県の状況を調査し検討することになりました。
また、eスポーツ（ビデオゲームを使ったスポーツ競技）を高齢者向けにサポートする取り組みをＮＴＴ東日本の宮城や青森が取り組んでおり、福島でも調整を行っているそうです。

昨年末のサッカー・ワールドカップでは、日本の活躍など明るい話題で盛り上がりました。
今年も、何かと不安な日常生活が続くと思いますが、新型コロナウイルスはワクチン接種と治療薬の普及で乗り越え、一日でも早い平穏な日常生活の到来を待ちましょう。
最後になりますが、皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とします。

年頭のご挨拶

ＮＴＴ東日本　　福島支店
支店長　　畠山　良平

新年あけましておめでとうございます。

福島地区電友会の皆さまには、日頃からNTT福島グループの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、３月に福島県沖を震源とした最大震度６強の地震、８月には会津地方で発生した記録的な豪雨と大きな自然災害に見舞われた年でした。幸いにもこれらの災害により大きなサービス中断は発生しませんでしたが、各戸での故障は通常より多く発生いたしました。現在、災害発生時の復旧作業の迅速化、連携強化を目的とした各自治体との「災害時における連携協定」の締結を進めており、昨年も県内９自治体と新たに協定を締結いたしました。「災害は忘れた頃にやって来る」のではなく、「いつでも災害は起こりうる」という心持ちで平時より各自治体と連携しながら、これからも安心安全な社会に向けての準備を進めていきます。

ＮＴＴ東日本福島グループでは、これまで培った通信分野における技術・ノウハウを活かしながら、地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業を目指して、自治体や地域のお客様と連携しながらデジタル化による地域活性化や地域における価値創造に取り組んでおります。現在、福島市内を中心にスーパーを展開している「いちい」様と共同でベニザケの陸上養殖の実証実験を進めております。

ＮＴＴ東日本がＩｏＴセンサにより養殖に適切な水温管理や温度条件など細かく管理し、遠隔で岡山理科大学から指導を受けながらベニザケの生育を管理しております。今年の初めには初めての出荷となる見込みです。さらにセンサで電圧をかけた冷蔵庫内の状態を管理する技術により、収穫したベニザケの鮮度を長期に保ちながら輸送可能にすることも検討しております。また、農業分野においても富岡町や郡山市の圃場にて、設備点検等で操縦ノウハウのあるドローンを活用した農薬散布などもはじめております。農業従事者の高齢化や就労者不足の課題を解決し、持続可能なスマートな農業の実現により地域の活性化につながる取組みを進めております。

昨年４月には福島大町ビルの旧窓口跡を利活用し、コワークスペースとセミナールームを併設した「コネクト大町」を開設しました。これまで社内外、県内外問わずのべ１，０００人を超える方々にご利用して頂いております。福島中心市街地ビジネス拠点のサブオフィスとしてご活用頂いており、福島市と締結した「新たな復興創生ステージの形成に向けたまちづくりに関する協定」と連動した取り組みとなっております。地元企業さらにはグループ会社をはじめとした首都圏の企業との接点となる場になることを期待し開設いたしました。ぜひ電友会のみなさまにも、様々な機会で御利用いただければ幸いです。

世の中のデジタル化は加速化し、自治体をはじめ地域の企業からも我々ＮＴＴ東日本グループへのデジタル化、ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）に向けた支援に対する期待も大きくなってきております。私たちが日常業務で取り組んでいるＩＣＴ化による業務効率化の応用や、デジタル化による課題解決事例を数多くお客様へ提供することにより、お客様のデジタル化やＤＸの後押しができます。昨年、須賀川市商工会議所の会員企業の方々向けに各企業にあったＤＸの事例紹介から導入支援までをＮＴＴ東日本グループとしてサポートしております。今年は福島県内の各エリアにおいてもＤＸの推進をサポートしながら、地域の活性化につなげていけるよう取り組んでいく予定です。

結びに、福島地区電友会の益々のご発展、会員の皆さまのご健康・ご多幸を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

※ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）
＝デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える（Ｔｒａｎｓｆｏｒｍする）こと

【コネクト大町会員登録方法】

CONNECT OMACHI
Style of NTT East Fukushima

上記QRコードを読み取り、「会員登録して利用申請」から会員登録をお願いいたします。会員登録後「fixUアプリ」をダウンロードして、コネクト大町への入室、施設予約等ご利用頂けます。

※電友会だより第５６号の訂正※

≪趣味のコーナー≫　掲載漏れ

■「私の趣味」―「バンド演奏」

牛坂　好孝さん

名前の掲載が漏れていました。

大変申し訳ございませんでした。

各 種 会 議 模 様

■第二回役員会　会議模様

第二回役員会を９月２９日、ＮＴＴ大町ビル１階「コネクト大町」にて開催しました。

始めに、ＮＴＴ福島支店　三品総務担当課長より「コネクト大町」の施設概要について説明を受け、実際にホームページから施設の利用申し込みの方法等について、役員が各自会員登録をして、入退室の方法等を体験しました。

今後、会議等での利用を検討して行きます。

次に第二回役員会に入り、佐々木副会長挨拶後、上期の取組状況と今後の施策について、意識合わせを行い了承を頂きました。

特に、二年間コロナ過で実施出来なかった「文化講演会」及び会員個々との懇親の場の提供方法については、今後のコロナウイルス感染の推移状況等十分に検討し、常任役員会で決定後、役員・会員に周知することし了承を頂きました。

※「コネクト大町」QRコード

■第三回役員会　会議模様

第三回役員会を１２月１５日、ＮＴＴ花園ビル２階会議室で開催しました。

始めに、山田会長挨拶後、事業計画の取組状況と今後の取組みについて、意識合わせを行い了承を頂きました。

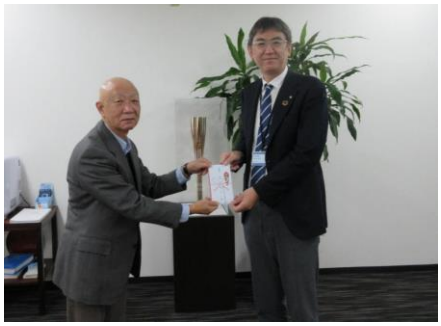
特に、二年間コロナ過で実施出来なかった「文化講演会」及び会員個々との懇親の場の提供方法については、今後のコロナウイルス感染の推移状況等について常任役員会で検討し役員に周知することしていましたが、第八波でコロナ感染者が拡大していることと、会員の感染を防止することから、新年会の開催は中止することで了承を頂きました。

ＮＴＴ施策の協力

■「電電ありの実会募金活動」に協力

「電電ありの実会募金」は、OB・OG交流会が新型コロナの影響により三年続けて開催出来なかったため、今年度も地区役員と各サークルにご協力を頂き、募金を実施しました。

その結果、合計５９名、３３，８７０円の浄財が集まり、会長よりＮＴＴ福島支店畠山支店長にお渡しし、大変喜ばれました。



新入会員の紹介

（加入月日順）

■近野　三男さん

昭和５０年４月　福島電報電話局に採用、受付通信課（電報）に配属となり、その後代理店営業などを担当、郡山営業担当のマンションバックヤードを最後に、令和３年３月退職しました。

電電公社からＮＴＴ、メタルから光、バブル、東日本大震災、新型コロナウイルス、テレワークなど色々な事が有りました。何とか最後まで、４７年間勤める事が出来たのも、色々な方の助けと家族の支えがあったからと感謝しています。

現在は仕事を探しつつ、趣味のガーデニング（主にバラ）、食べ歩きや散歩、雑草との戦いなどをしながら過ごしています。

この度、先輩からのお誘いを受け入会させて頂きました。これからは里山トレッキングなどに参加し、皆様と交流を深めて行ければと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

■小野　亨さん

昭和５５年４月仙台電話局営業部第六営業課に配属となり、令和４年３月に福島開通コントロール担当（大町ビル）勤務を最後に退職しました。

４２年間、沢山の方にお世話になってここまでこれたことに感謝致します。

入社時は、電電公社でスタートをきりましたが、途中で三公社の改革により株式会社となり民間企業へと大きな変化がありました。

私的には、社会人野球を九年間在籍することができ、思いっきり野球ができたことは社員の皆様からの叱咤・激励の応援やご協力を頂いたこらこそ長く野球が出来たと思っております。改めて皆様に感謝申し上げます。

退職後は、自宅脇にある畑で野菜などを育てておりまして、楽しみながらのんびりと過ごしております。

これからも、電友会の皆様方と楽しく交流していければと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

■荒井　義勇さん

昭和50年5月16日に旧平電報電話局計理課資材係に採用となりました。中途採用となった理由は、前任の方が人事異動をゴネた為だそうです。（前任の方より伺う）退職は財務で終わりたかったのですが、業務の集約等により叶わず担当名が長くて電話に出たくない、㈱ＮＴＴ東日本－東北（省略)、福島支店　第二ﾋﾞｼﾞﾈｽｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ部　ﾏｰｹｯﾃｨﾝｸﾞ担当が最後となりました。

出身は山形で長男でしたが、高卒から47年間福島県人となり住まいも「妻の実家近く」飯坂に構えた事から必然的に福島県人しか選択枝がありませんでした。(マスオさん？いやいや、幸せですよ)これからは電友会の先輩方の背中を手本に、地域やサークル等にご指導を頂きなが第二の人生を元気で楽しく頑張って行きたいと思いますのでよろしくお願い致します。

■中越　幸司さん

１９７７年１２月二本松局機械課に配属されました。当時はクロスバー交換機の時代でついていけるか心配しましたが宴会が頻繁に開かれてすぐに会社に馴染めたのを思い出します。

その後デジタル交換機が導入され、花園交換技術担当に転勤になり、交換機建設工事を行いました。途中、福島TATに誘われ所内の技術支援を行うことになりました。

その後、仙台の技術支援担当に転勤になり色々な交換機の作業に参加しながら得意な交換機の技術支援を行いました。

福島に戻るときは潜在故障撲滅ツールを持ち帰り、花園交換サービス担当では原因不明の故障対応をすることになりました。この頃になると余暇の方は宴会よりもレジャーが盛んになり、色々なサークルが出来ていました。

自分はダイビングと登山、スキー等を楽しむことが出来ました。

その後、ＩＴの時代が訪れ、プロトコルに苦戦しながら大量の装置を導入しました。

２０２２年３月、NWサービス担当を最後に退職しました。今のようにスマホもない時代で何も分からなった自分が多くの方から指導を受け色々な事が出来て、充実した社会生活を送ることが出来たと思っています。

今後ま電友会で皆さんと一緒に残りの人生を楽しみたいと思っています。

どうぞ宜しくお願い致します。

兎年生まれの方の抱負１/２

（生年月日順）

■伊藤　重さん（１９３９年生まれ）

明けましておめでとうございます。７回目の年女。こんなに長生きするとは、驚いています。幼児期から病弱で、病院から帰宅時、人力車に母と一緒に乗ったことが思い出されます。

３０歳頃、大手術してから元気になり時間の許す限り、アマチュア無線・射撃・旅行（外国は約２０ヶ国）と楽しみました。

退職後は、民生・児童委員を２１年間やらせて頂き、社会福祉活動を通じて、多くの方々と知り合いになれた事は、私の財産となりました。　最近、コロナでひきこもりがちになり、運動不足を感じています。コロナ感染が終息したら、以前の生活が始められることを願い、健康に留意して過ごしたいと思います。

皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

■東城　為男さん（１９３９年生まれ）

「ゲートボールに魅せられて」

我がチームは団地住民の気心が分かり合える６名のメンバー。結成時は予選敗退が常、徐々に勝敗に拘る意識が芽生え、練習にも熱が入る様になった。

ゲートボールは国体競技でチームとしての巧拙が左右します。闘争心を掻き立て試合で勝利した時は、メンバーの心が一つになった証であり団体競技の特徴でもあります。

福島県大会で優勝し、全国大会出場４回という成績となり冥途への土産も出来ました。

抱負でなく自慢話になった事にお詫び申し上げます。

■小澤　朝一さん（１９３９年生まれ）

あけましておめでとうございます。年男も７回目、なんと長いこと生きてきたなと、その中でもこの２年半はコロナ禍に翻弄され、生い先短く貴重な時間を無駄に費やした年でした。

行動制限のある日々の中で静寂を求め、毎日曜日に古刹「長楽寺」で「坐禅」を1時間坐しております。雑念がばかりで無になるのは数秒です。

新たな年は皆々様が希望に満ちた良き年なるように祈願いたします。

■清野　康男さん（１９５１年生まれ）

あけましておめでとうございます。加齢とともに体力の衰え、体調の変化を感じ、また軽度の持病をかかえ乍ら夏季はＪＡでアルバイト、そして狭い土地での野菜作りをし、その時々の旬のものを収穫して味わっています。

自分で作ったものは格別で、出来は良くない場合もありますが楽しんでいます。

これからも健康に気を付け、この先その年齢になってみないと分からないこともあるでしょうが、色々なことにチャレンジし、まずは喜寿を目指してその時々体調に合わせ年相応の生活で人生を楽しんで行きたいと思っています。

■鈴木　敏和さん（１９５１年生まれ）

明けましておめでとうございます。

早いもので６回目の年男を迎えることができることに家族に感謝です、現在は健康維持のために気の合う仲間と月２回程度のゴルフを楽しんでいます。

退職後、NTT無人交換所の除草作業の手伝いをしています、福島地区電友会の常任幹事になり早や６年、その間新型コロナウイルス感染によりサークル活動にも影響が出てきました、ワクチン接種し自己管理を図ってもまだ以前のような活動ができませんが、少しでの皆様方のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っています。

今後ともご指導の程宜しくお願い致します。

■三浦　利夫さん（１９５１年生まれ）

令和５年の年男を迎え、よくここまで病気もなく生きて来れたもんだなーと思います。

近年はコロナにより世界が変化して私達の気持ちも晴れない、少し内向きな毎日を過ごしています。早く老若男女が気兼ねなく楽しめるようになって欲しいですね。

私は皆さんにゴルフ等で遊んで貰い大変助けられ、うれしく思い感謝しています。ゴルフで面白いのはナイスショットが百回に１回ぐらいあり、これが決まった時はうれしく続けています。私の人生と同様失敗は数多くあり身体と小遣いが続くまで挑戦したいと思ってます。

また、庭に出て、季節の花を見たり、木工製作、レザークラフトとかタイル貼りなどの小さなＤＩＹに時間をかけて楽しんでました。今後は皆さんに助けていただき色々な行事に参加出来たらうれしいです。

最後に、皆様とご家族のご多幸をお祈り申し上げます。

今後とも宜しくお願い致します。

兎年生まれの方の抱負２/２

（生年月日順）

■根本　芳則さん（１９５１年生まれ）

＝続けたい書籍音声化ボランティア＝

元々体が弱かった私は小学校入学前に肺炎を患い、その春に入学出来るかどうか危ぶまれましたが両親の思いもあり何とか入学出来ました。

入社してからも病気・怪我等を経験、それは平たんな道ではありませんでした。

その私が職場・社会に守られ４７年間仕事を続けられ、退職してからは電友会活動の中で、社会へ恩返しの「書籍音声化ボランティア」の活動にめぐり合うことが出来ました。

■結城　敏明さん（１９５１年生まれ）

あけましておめでとうございます。

オミクロン株も、第８波が囁かれているところですが、私はつい先日５回目のワクチン接種を終えたところです。

まだまだ不安はありますが、皆様はいかがでしょうか？

今般、ガソリンや物価の高騰で生活もままならない状況ですが、今年はコロナや戦争が収束し、落ち着いた生活が送れるよう、願っております。

私におきましても、好きなゴルフや釣りが続けられるよう、健康に留意して過したいと思っております。

■富樫　富昭さん（１９５１年生まれ）

あけましておめでとうございます。

今年で６回目の年男、何と月日の経つのは「速いこと」今年の正月での一番の実感です。

ここまで元気で過ごすことができて感謝に堪えません。ただ、年相応に体はあちらこちらで痛みを訴える今日この頃です。昨年からは電友会事務局でお世話になり毎週、役員の方々と話が出来て「脳の活性化」を図ることが出来ています。また、孫との会話も若さを保つカンフル剤となっていますので、折を見ては、孫守に出かけています。

また、今年は趣味で４年前から始めたカルチャーセンターでの絵画教室も頑張るつもりでいます。まだ、油絵に行けるほどの力が有りませんので今年は是非、挑戦したいと考えています。そのために今は世界の名画の模写を始めているところです。今年も元気で生活出来るように頑張りたいと思います。

■菊田　正樹さん（１９５１年生まれ）

あけましておめでとうございます。

早いもので今年６回目の年男を迎える事となりました。

若い内は、「年を取れば時間がゆっくり過ぎて行く」のではないかと思い込んでいましたが実際この年になってみると全く逆で、あっと.言う間に時間が過ぎて行きます。

旅行も儘ならない昨今、体の都合で自宅を中心とした遊びをしておりますが皆様に１つご注意を。　健康維持と思い、１５年前からウォーキングをしておりましたが　２年前の夏に突然右足に激痛が走り、歩けなくなってしまいました。原因は歩き過ぎ。ここのところは、やっと歩けるようになりましたが時々、激痛が走ります。

皆様も運動は程々に。コロナが収束したらまた何処かでお逢いしたいものです。

【その他の年男】

■竹下　正明さん（１９５１年生まれ）

趣味のコーナー

■高橋　芳市さん

「野球審判の趣味について」

体力の衰えと共に野球をやめて、野球の審判になったのが４３歳の頃だと思います。誘われるまま軽い気持ちで審判を引き受けました。

野球規則（ルール）にフォーメーションなど審判ってこんなにも覚えることがあるのかと驚きました。

３年目に高校野球で球審としてグランドに立ちました。夏の大会は高校生最後の大会ということもあり「応援の力がすごく、応援のたびに地響きのようなものを感じました」。先輩の教えがようやく理解できたのと、とんでもない世界に足を踏み入れたことに後悔もしました。

しかし、数時間にわたる試合を乗り越えた時の緊張感は、他では味わえない何とも言えない達成感が魅力です。

それが６０歳になったときに還暦野球に誘われました。また、野球が出来るという情熱が湧いてきたのと、退職後の健康維持にも最適と即入部しました。県内で優勝して全国大会に行くことも出来ました。

特に、札幌で開催された東日本軟式野球大会では準決勝まで勝ち進み、「札幌丸山球場」で野球が出来たのが良い思い出です。還暦野球の全国レベルは高いのですが、優勝経験が出来なかったのは唯一の心残りです。

現在は、古希野球を楽しんでいますが、全国制覇は「夢で逢う」のようです。八〇歳を超えてもまだまだ元気な人がゴロゴロおりますので、自分も元気な人の後を追いかけて野球を楽しみたいと思います。

野球の試合が無い平日や土・日曜日は、学童野球（小学生）や少年野球（中学生）一般の野球大会の審判を続けております。審判は誤った判定は出来ないので、野球とは違った緊張感があります。身体が動く限り、この緊張感を味わっていきたいと思います。

施策の取り組み

■福島ひまわり里親プロジェクト

福島ひまわり里親プロジェクトへの協力ありがとうございました。
収穫者は　３名。
収穫量は３．１１kgでした。

ひまわりの種は１１月９日にＮＴＴ福島支店へお届けしました。

来年も協力をお願い致します。

■「NTT東日本ふくしまの森」プロジェクトへ参加しました

ＮＴＴ東日本宮城事業部グループでは、２０１７年に「ＮＴＴ東日本ふくしまの森」として、相馬市磯部字大洲地区の国有林地内に海岸防災林の再生のための植樹を実施し、成長活動として下草刈り等を行っています。

今年も１０月１５日にＮＴＴ東日本（宮城・福島）と福島地区電友会及び相馬・原町地区電友会（５名参加）合計３５名が参加し除草作業を行ないました。

■不良設備情報の提供

今年度の取り組みについては、地区だよりでお願いをしていますが、NTTへの報告実績は13件と少ない状況です。

再度、活動日（年金支給日）の取り組みをお願いいたします。

更なる情報の提供をお願いいたします。

■食用廃油の回収活動の状況

地球環境保護活動として、各会員の皆様及び介護施設・保育園・食堂から出る食用廃油の回収に協力頂きまして有難うございます。

回収した食用廃油は、二本松の障害福祉サービス事業所（菊の里）でバイオディーゼル燃料として生まれ変わり、環境保護活動に寄与しています。

今年度は、11月末で360ℓ回収しました。

会員の皆様、ご協力をお願いします。

お問い合わせは、事務局へご連絡ください。

訃　報　情　報

「前号（R4.8.1）以降に連絡のあった方」

■ご冥福をお祈りします

○田邊　武男　様
（令和4年7月30日　　享年94歳）

○伊藤　和以　様
（令和4年10月9日　　享年88歳）

○阿部　保衛　様
（令和4年10月19日　享年82歳）

事 務 局 だ よ り

≪ＮＴＴより情報提供≫

今年度も「ＯＢ・ＯＧ交流会」が中止となりました。　１０月２４日から１０月３０日の７日間、　ＯＢ・ＯＧ向けに「ＮＴＴの東北各県の取り組みと活動状況」を、パソコン・スマートホン・タブレット等で視聴できる様に、ＷＥＢサイトで映像配信されました。

≪3月までのスケジュール≫

1.「新春の集い新年会」
　例年、１月中旬に実施していました「新年会」は、新型コロナ感染が第８波に入ったとのことから、残念ながら中止といたします。

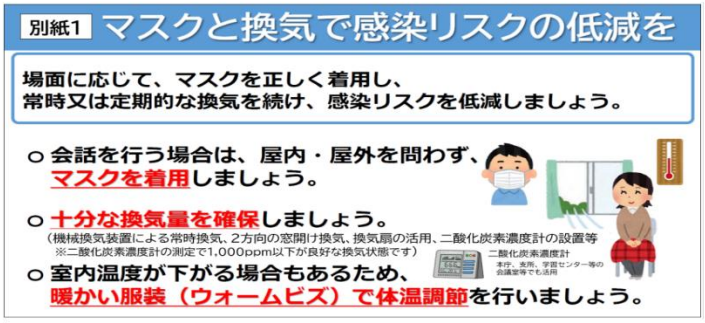
２.第４回地区役員会議
　日時：３月中旬予定
　場所：花園ビル２Ｆ会議室（未定）

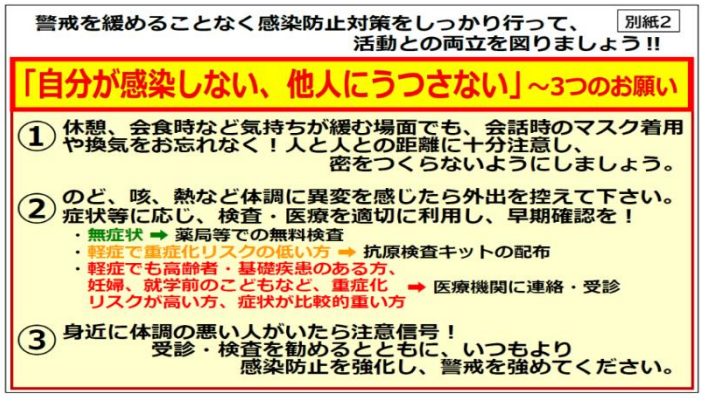
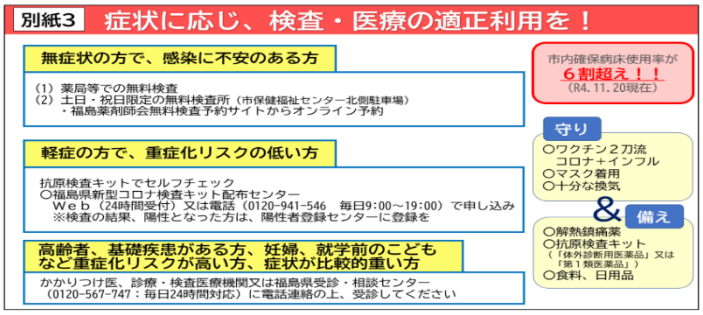
≪新型コロナ関連対策≫

（福島市ＨＰから抜粋）

【感染防止対策】
年末年始を迎え、新型コロナの感染はさらに拡大し、インフルエンザとの同時流行も想定されており、医療ひっ迫が懸念されます。
市民の皆さまには、医療と命を守りながら、様々な活動を継続・拡大していけるよう、次のような対策の徹底をお願いします。

１．冬場を迎え、室内でのマスク着用や十分な換気を行うなど、基本的な感染防止対策を徹底してください。（参照：別紙１マスクと換気で感染リスクの低減を、別紙２「自分が感染しない、他人にうつさない」～３つのお願い～）





２．症状や重症化リスクに応じた検査・医療の利用をお願いします。（参照：別紙３症状に応じ、検査・医療の適正利用を！）
①無症状で、感染に不安のある方
・薬局等での無料検査
・土日・祝日限定の無料検査所
　（市保健福祉センター駐車場北側）
②軽症で、重症化リスクの低い方
・抗原検査キットで自己チェック
・手元に抗原検査キットがない方は、福島県新型コロナ検査キット配送センターに配送を申し込みいただけます。
③高齢者、基礎疾患のある方、妊婦、就学前のこどもなど重症化リスクの高い方、症状が比較的重い方　・かかりつけ医又は福島県受診・相談センター（０１２０－５６７－７４７）に電話連絡の上、受診してください。